

会 議 記 録（概要）

会 議 名	令 7 年度第 2 回三田市立図書館運営評価委員会
日 時	令和 8 年 3 月 18 日（水） 18 時から 19 時 30 分
場 所	三田市立図書館本館 2 階コミュニティホール
出 席 委 員	笹倉委員長、尾上副委員長、矢野委員、小山委員、佐藤委員、千坂委員
指 定 管 理 者	図書館流通センター関西支社 余田、鈴木 市川館長、山本分館長、橋上前分館長
事 務 局	市民生活部長 横溝、 市民生活部次長 榎本 文化スポーツ課長 畑、副課長 西、主任 山本
傍 聴 者	0 人
添 付 資 料	次第、資料 1～2

会議概要

1 開会

2 あいさつ 市民生活部長あいさつ

3 報告事項

（1）令和 7 年度事業報告

資料 1、当日配布資料に基づき説明

委員	資料 1 の利用状況比較によると利用者数が前年度より減っているが、人口が減少しているためか。
事務局	人口減少もあるが、人口減少割合より利用者数の減少割合のほうが若干大きい。
委員	目標 2 の市民センター等・郵便局での図書取次サービスについて、貸出より返却が多いのは、図書館本館で借りて郵便局で返すといった例が多いということか。
指定管理者	おっしゃるとおり、図書館で借りた本を郵便局や市民センターで返すというケースになる。
委員	前回の委員会での指摘事項取りまとめの中で、特に登録率向上の取組について、館長から 1 本釣りでの利用者獲得が難しいという話があったが、市民の中で特にこの層が減っているといったことはあるのか。
事務局	登録率でいうと、小学生・中学生は 50%、その他は 30%弱となっている。小学生・中学生の登録率は他と比べて高いが、人口が少ないため、利用者数としては少なくなっているという状況である。他の世代より登録率が高いとは言え、前回、委員長もおっしゃったが、小学生・中学生の登録率をもっと高め、利用いただきたいという思いがあり、学校単位で働きかけることができればと思う。
委員長	登録していない小中学生が多いということか。

事務局	かなり以前にはなるが、どこの小学校も図書館見学に来られた時代には、来館時に、生徒さん全員の図書館カードを作ったため登録率が高かった。現在は図書館見学が減り、その分、移動図書館での出張サービスを行ってはいるが、以前のような状況にはない。
委員長	なぜ登録率が大事かと言うと、図書館が一番税金が還元できる施設だからである。例えば、西脇市は、生まれたときのブックスタート時から図書館に登録してもらうなどし、登録率は77%となっている。多可町でもPTAや老人クラブ等に出かけて登録の勧誘をしている。市役所でも図書館の登録をできるようにする、図書館ボランティアに協力してもらう等、いろいろな働きかけが必要ではないか。
委員	小中学校に働きかけるという話があったが、幼稚園や保育園はどうか。幼稚園や保育園の絵本はとても少なく、年齢にあった本がないこともある。
委員	先日、生涯学習審議会の委員と教育委員の懇話会があったが、そこでも、生涯学習施設の学校単位での利用を推進できないかということが話題になった。ひまわり学級の生徒が図書館に見学に来て、貸出体験をしているのを拝見した。学校としてもそういった取組をしようという機運が高まっているのを感じた。
委員長	高校生の利用はどうか。学習席を見ると自習をしている人も、図書館の本も机の上に置いていたりしている。勉強もするが図書館の本も読んでいるということがわかる。本の魅力をどう伝えるかということになると思う。
事務局	自習室に来た学生さんにも本につながってもらおうということで、小さな本棚を2階にもおいて、学生さんに興味を持ってもらえそうな本の展示をしている。
委員長	例えば島根県や石川県の中学校の図書館で昼休みに300、400人の生徒が来るというところがある。そこは何が違うかということと本の専門家がいる。本と人をつなぐ司書の存在が大きい。中長期的な展望を持って人材を育成していけないといけないと思う。
委員	市内の学校には学校司書がいて、こども達の読書活動をサポートしている。読み聞かせや選書の技術について、図書館から指導いただきながら専門性を高めていく取組をしている。登録率でいうと、先ほど話があった図書館見学については、バス代の高騰や授業日数の関係で、来館するのが難しくなっている。できればアウトリーチサービス等で学校に来ていただければと思う。先日も移動図書館が学校に来た際、児童が興味を持っていたが、カードを持っていなかったために利用できないということがあったので、カードを作る場があることは大事だと思った。

事務局	移動図書館でもカードを発行すること自体はできるので、学校でこどもさんにどんな働きかけができるのか、相談させていただきたい。
指定管理者	小学校に入れば、電子図書館のアカウントは発行されるが、図書館カードは別に作る必要がある。
委員長	小中学生は親に相談して作るということになるので、こどもへ働きかけの後、こどもが親の承認を得てカードを作ると２段階になる。
委員	いろんな段階で入口を用意しておく必要があると思う。ブックスタートや検診の際には、保護者に働きかけることができる。学校でも図書の時間はあり大事だが、家庭の力は非常に大きいと感じている。そういう点で、「パパと一緒にのおはなし会」等、図書館で様々なイベントを実施されていることに興味を持った。
委員	コロナ禍以降、利用が減っているというのは他の図書館でも同じか。
指定管理者	傾向としては他市でも同じ。また、コロナだけでなくネット環境が非常に進み、手っ取り早く情報がとれるようになったことも、図書館の利用減につながっているように感じている。
委員長	簡易なレファレンスであれば、チャット GPT で済ませることもできるかと思うが、実際にレファレンス件数は減っているか。
指定管理者	件数は減っているが、ネットを使われない方に向けたサービスとしては続けていくべきだと思っている。

（２）令和７年度アンケート結果について

資料２に基づき説明

委員	電子図書館は、学校のタブレットで利用できるようになっている。これにより、今まで本に興味のなかった児童や、部活動等で忙しく、図書室に行く時間がなかった生徒が、本に興味を持つようになったと現場から聞いており、思いがけない効用があったと思っている。ただアンケートにもあるようにコンテンツ数に課題があり、予算の兼ね合いもあると思うが、少しずつでも増やしていただきたい。
委員	電子図書館の使い方がわからないというご意見が多いが、対策としては何か予定があるか。
指定管理者	スマート図書館講習会を開催しているが、もっと気軽にいつでも窓口で聞いていただけるように、掲示等も考えたい。
事務局	電子図書館については、どんなものかわからず何となく遠ざかっているという方もいらっしゃると思われるので、イメージしていただきやすいよう紹介動画も作成した。ただ、その動画をど

のように広めるかということも課題となっている。

委員 アンケートについては質問用紙も提示いただければわかりやすい。

事務局 次回からそのようにさせていただく。

委員 アンケート結果を AI に取り込んで、改善すべき点の洗い出しはされているか。

指定管理者 ぜひ試してみたい。

4 委員モニタリング実施について

- ・モニタリングシートを5月8日までにご提出いただきますようご協力をお願いします。
- ・各項目5点満点での評価になる。
- ・特に3点以外をつけられた場合は、コメント欄にその理由をご記入いただきたい。
- ・提出いただいた結果を取りまとめ、令和7年度の図書館の評価に反映させていただきます。

委員長 5段階は評価しづらい。4に近い3も3にせざるを得ず、また、もう少しがんばってほしいところに2をつけると、とても悪いような印象になり、つけづらい。10段階であれば評価しやすい。5段階とすることは決まっているのか。

事務局 市全体で指定管理施設の評価については5段階で行っており、図書館も5段階でお願いしている。

委員 他の指定管理の例でもいいが、1がつくのはどういう場合か。

事務局 1の経験はないが、1になる前に修正できるように市としてもかかわっていく。

委員 市としてもモニタリングや協議を実施され、良い方向に修正できるように取り組まれているかと思う。

委員 図書館ができた当時とは、それぞれの地域で人口動態が変わってきていると思う。三田駅周辺の人口が増加してきているが、三田駅周辺には図書館がない。今後、図書館のロケーションについて検討していく必要があるのではないか。

事務局 具体的に何かということはないが、市として公共施設のあり方は課題と考えており、財政ロードマップのなかで三田駅周辺も含めた公共施設の最適化検討の取組を行っていく予定としている。

委員長 その他になるが、豊岡のコウノトリについての最初のレファレンスを県立図書館で受けた。絶滅危惧種を保護して自然に返す取組について世界中の事例を調べ、今では放鳥されて保護されている。三田市でもレファレンスで課題解決に役に立ったケースをもっとPRしてはどうか。図書館が役に立つ点、良い点をも

っとPRするとよいと思う。

指定管理者

レファレンスで受けて興味深い事例をXであげている。いろいろな方法で、レファレンスについて知っていただけるよう発信していきたい。